



スズメ目セキレイ科には、セキレイ類とタヒバリ類があります。体は細めで足が長い点は似ていますが、セキレイ類の方が体の大きさに比べて尾が長く、タヒバリ類は後ろ足ツメが長いです。

また、セキレイ類の方が尾を振る習性は著しく、飛翔時の姿は波状を描きますが、セキレイ類の方が規則正しい深い波を描きます。澗沼周辺では、6種のセキレイ科が見られ、その内ハクセキレイと本種はごく普通に見られます。キセキレイは春に山あいの川辺などで出会えることが多いです。

里山に育む生きものたち

15 セグロセキレイ

(スズメ目 セキレイ科)

学名 *Motacilla grandis*

英名 Japanese Wagtail

写真 / 坏 允子

文 / 山口 萬壽美

▼主な特徴

留鳥として北九州以北に分布し、平地から山麓の河川、湖沼、農耕地などに生息しています。本種はハクセキレイと同じくらいの大きさの約21cmで雌雄同色、日本特産の数少ない鳥の一種です。体の上面と胸は黒く、眉斑^{びはん}や額、喉は白い。海岸や河口近くの川などでは見られません。三列風切りや初列風切り^{あまおおい}の一部の羽先は黒く、大・中雨覆^{あまおおい}などその他の部分は白い。

▼習性

一般的な習性として、ハクセキレイと似ていて両種が混在している所では

争う場面がよく見られます。

波状に飛びながら、ジジー、ジジーとにごった声で鳴きます。繁殖期には岩や流木の上、電線、屋根の上などにとまり、チチージョイジョイーチチなどと囀ります。水際の石を伝わって歩いて、昆虫や小魚をとったり空中でカゲロウなどを捕まえます。1、2羽で行動しますが、ハクセキレイ同様集団でねぐらを取ります。

▼観察メモ

ハクセキレイの鳴き声は、「チュウウ チン チン」と甲高い声で鳴きますが、セグロセキレイの地鳴きは「ジジッ ジジッ」と濁った声で鳴きます。ハクセキレイの成鳥は顔の白色部分が大きく、過眼線^{かかんせん}と胸の三角の斑が黒いですが、本種の背と眉斑は、雌雄とも黒いのが特徴です。

セキレイ類の、鳴きながら大きく波状を描きながら空中を飛ぶ姿は、さわやかで癒されます。

なお、ハクセキレイは水戸市の鳥として指定されています。ちなみに、茨城町の鳥はウグイスです。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤 1080 TEL029-292-1111

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成 25 年 5 月 31 日現在)

◆総人口 34,406 人 (-9) 男 17,222 人 (-3) 女 17,184 人 (-6) ◆世帯 12,611 戸 (+11)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インクを使用しています